

鹿児島地本だより

第52号
(令和8年 新年号)

発行元 自衛隊
鹿児島地方協力本部

印刷所 南日本出版株式会社



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長
1等海佐 川畑 信一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和八年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、自衛隊鹿児島地方協力本部に格別のご高配を賜り、また、私個人としても鹿児島出身の本部長としてひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

防衛省・自衛隊は、このような安全保障環境のなかで、国民の命と平和な暮らし、わが国の領土・領海・領空を断固として守り抜く取組として、主体性・主導性をもって、現在、日本の防衛力の抜本的強化を推進しています。それに伴い、自衛官の処遇や勤務環境の改善、採用、援護などの生涯設計の確立といった人的基盤の強化に努めています。

令和七年度の鹿児島地方協力本部の募集は、引き続き厳しい状況が続いており、そのような中、昨年七月、鹿児島地方協力本部主催の「自衛隊みごと祭り」には天候不順によりステージイベントの中止など縮小開催を余儀なくされたものの、多くの県民の皆様にご来場いただきとともに、県内各地域の様々なイベントにも参加して、募集ブースの出席及び装備品の展示等を実施、また、天文館にてサテライトブース(募集広報拠点)を常設し、自衛隊の仕

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっています。中国は国防費を急速に増加させ、軍事力の質・量を広範かつ急速に強化し、尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動を活発化させ、北朝鮮は大量破壊兵器や弾道ミサイルなどの増強に集中的に取り組みミサイルの発射を強行、ロシアはウクライナ侵略を継続するとともに、活発な軍事活動を継続し、さらには中国と共同での航空機や艦艇の活動も確認されています。

事・魅力を発信して自衛隊をPRするなど、創意工夫を凝らし部員一丸となって各種募集目標の達成に邁進しているところであります。退職予定隊員の就職援護においては、昨年七月に六十五社のご協力を得て、任期制隊員等合同企業説明会を開催し、退職自衛官の有用性等について各企業様のご理解を得ながら、再就職支援に取り組んでおります。一方、予備自衛官等の確保につきましても示された目標達成に向け、鋭意努力を続けていくところであります。

本年も皆様とこれまで以上に交流を深めさせていただき、引き続き我々の諸活動に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、新年が皆様にとりまして幸多く素晴らしい年となりますように祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

鹿児島県防衛協会
会長 塩田 康一

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、県内の陸上、海上及び航空自衛隊の皆様、並びに鹿児島県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

自衛隊鹿児島地方協力本部におかれましては、昭和二十九年七月に発足されて以来、長きにわたり、自衛官の募集や、県及び市町村等への退職自衛官の再就職などの就職援護に尽力されるところに、災害や国民保護等に関する自衛隊及び県内自治体との連携・協力等に多大な御支援を賜り、深く敬意と感謝の意を表します。

また、日頃から防災や救急救命など本県の危機管理行政の推進に格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境は厳しい状況が続いている中、自衛隊の皆様におかれましては、我が国の防衛はもとより、世界の平和と安全に向けた国際平和協力活動や、頻発・激甚化する自然災害等から国民の生命と財産を守る災害派遣活動など、広範・多岐にわたる崇高な任務を着実に遂行さ

れており、国民の期待とそ

の果たすべき役割は、ますます大きくなっており、ます。本県におきましても、災害発生時のリエゾン派遣をはじめ、昨年一月の硫黄島山林火災における空中消火活動や八月の大雨で断水した霧島市及び始良市での給水支援など、本県の災害対応に御支援・御協力を頂くとともに、離島からの急患搬送や、県総合防災訓練をはじめとする各種訓練への参加など、数々の任務を遂行し、県民の安心・安全の確保に大きく御貢献いただいております。

自衛官を志願し入隊される若者を本県も毎年多く輩出しており、そうした隊員の皆様の顕著な御活躍を拝見するたび、大変心強く感じております。

自衛官の募集環境が厳しさを増す中、自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様には、引き続き、県内自治体及び県民と自衛隊部隊及び隊員の皆様をつなぐ架け橋として御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、年頭に当たり、本年が皆様にとって幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部後援会
会長 山田 実

新年あけましておめでとうございます。

自衛隊鹿児島地方協力本部後援会の皆様を始め、自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様並びに防衛協力諸団体の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会の活動に對しまして、関係機関並びに防衛関係諸団体等の皆様方から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はトカラ列島近海において地震活動が活発化し、七月には震度5強を観測する地震が立て続けに発生しました。

また、南海トラフ地震の発生確率について、政府の地震調査委員会は、今後三十年以内に「60～90%」「20～50%」という二つの想定が示されました。これは、過去の巨大地震の規模や発生間隔等によるものと、過去六回の地震の発生間隔を基に予測されたものとなっております。

こうした自然災害については、何時如何なる場所において発生するかは予測困難であり、我々国民一人一人が常日頃から備えるべき心構えと必要な装備が不可欠であります。しかしながら、いざ災害が発生しますと個人で出来る活動には限界があり、やはり公共の力と組織力に頼らざるを得ません。防衛省・自衛隊では、これまでの教訓を基に、たとえ何時如何なる場合であっても迅速に対応した災害派遣活動を実施し、迅速な救命・救助活動及び支援活動を行っておら

れます。

一方、我が国周辺地域の安全保障環境におきましては、ロシアは核戦力を含む各種装備の近代化を推進し、北方領土及び千島列島に新型装備を配備する等、軍備強化を図っており、また、中国軍との共同活動を活発化させています。また中国は、国防費の高い水準での増加を背景に、海上・航空戦力や核・ミサイル戦力を中心に軍事力を広範かつ急速に強化しつつあり、特に、尖閣諸島周辺においては、力による一方的な現状変更の試みを長年に亘り執拗に継続しております。

こうした中、国内においては、出生率と一人の女性が生涯に産むと推定される子供の数が過去最低を更新し続けており、高齢化による労働人口の減少等、少子高齢化が一層深刻な問題となっており、防衛力を支える自衛官の募集は、益々厳しい状況になりつつあります。

当後援会といたしましては、自衛隊鹿児島地方協力本部が行います自衛官の募集、退職予定自衛官の就職の援助、予備自衛官等管理及び各種広報活等の業務遂行に積極的に協力するとともに、一体となって活動し、安心・安全を願う県民の皆様のご期待に添えるよう、より一層努力して参る所存であります。

最後になりましたが、自衛隊鹿児島地方協力本部の今後益々のご発展と部員の方々及びご家族の皆様、後援会会員並びに防衛協力諸団体の皆様方のご健勝とご多幸を祈念して、新年のご挨拶といたします。

※「鹿児島地本」は「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。

新年のご挨拶

公益社団法人隊友会
鹿児島県隊友会
会長

児玉 健二郎



新年明けましておめでとうございます。
自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、そして自衛隊関係協力諸団体の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から隊友会活動に対し、絶大なるご支援・ご協力を賜っており、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

地方協力本部の皆様方におかれましては、国内外情勢の不安定、経済活動の低迷、少子高齢化、高学歴化に伴う入隊適齢人口の減少等、極めて複雑かつ厳しさを増しつつある中、川畑本部長の御統率の下、総力を挙げて募集・援護等の業務に日々邁進されておられることに対し、心から敬意を表します。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻の行方も見通せない中、混迷を深める中東情勢、そして、我が国周辺地域における安全保障環境も、緊迫の度合いを高めつつあります。

自衛隊を取り巻く環境は、益々厳しさを増しつつありますが、隊員諸官は自然災害対応をはじめ、いつ如何なる事態にも迅速に対処可能な即応態勢と精神の健全性を保持しつつ、日々厳しい訓練に励んでおります。

こうした中、政府は、高市総理の強力なリーダーシップの下、国家安全保障戦略等の安保関連三文書の見直しを検討し、防衛力の抜本的強化、陸・海・空自衛隊の統合運用態勢の確立、人的基盤の充実、後方・兵站基盤の拡充等を急速に推進しようとしております。

隊友会も、鹿児島地方協力本部をはじめ、県内の防衛協力諸団体等と密接な連携を図りつつ、「国民と自衛隊の架け橋」として積極的に活動してまいり所存であります。

終わりに、自衛隊鹿児島地方協力本部の益々のご発展と関係各位のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

公益財団法人自衛隊家族会
鹿児島県自衛隊家族会
会長

有村 長藏



新年明けましておめでとうございます。
自衛隊鹿児島地方協力本部の皆様、協力諸団体の皆様、ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

鹿児島地方協力本部の皆様には、県内各地の自衛隊家族会の諸活動につきまして、大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

皆様におかれましては、厳しい募集環境の中で自衛官募集並びに退職隊員の就職援護について本部長を核心として地道に任務を遂行されている事に敬意と感謝を申し上げます。

国は、自らの国は自ら守るといふ強い信念のもと、日本周辺の厳しい安全保障環境に対応すべく、敵地攻撃能力を含む防衛力の抜本的強化を図っています。

また、隊員の勤務意欲向上、人材確保の為、自衛官の処遇改善、生活・勤務環境の改善にも取り組んでいます、これが、募集に繋がっていかばと願うところです。

私たち自衛隊家族会も鹿児島地方協力本部の主要な行事・イベント等にできる限りのご支援をさせて頂き、募集・援護業務の一助になればと思っております。

今後も隊員に最も身近な存在としてあらゆる機会をとらえて自衛隊を応援して参りたいと考えております。
終わりに、鹿児島地方協力本部の益々のご発展並びに部員の皆様及び関係諸団体の皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和七年度自衛隊殉職隊員 慰霊祭を支援

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和七年十月二十五日(土)、鹿児島県護国神社において鹿児島県隊友会が主催する「令和七年度自衛隊殉職隊員慰霊祭」を支援しました。

本慰霊祭は、昭和四十年から実施され鹿児島県護国神社に祀られた百十一柱の御霊の安らかな眠りを祈念するものであり、鹿児島県隊友会がご遺族十九名を招いて、肅々と執り行われました。

素晴らしい秋晴れの下、主催者である隊友会会長からは、「ご遺族と共に、我が国の安寧に寄与した御霊に礼を尽くすことができ、安心してました。ご遺族を始め、各協力団体及び各部隊長のご理解、ご協力を深謝いたします。」との謝辞があり、「ご遺族からは、「息子に支えながらではあります、今年も参列することができた。」「懐かしい顔ぶれに会えて嬉しい。」との声が聞かれ、来年度の再会を約束し神社を後にされました。

自衛隊鹿児島地方協力本部は今後も、百十一柱の御霊に敬意を表するとともに、ご家族を失ったご遺族の心に寄り添う親身な対応を行い、ご遺族の平穏のために、遺族援護業務を着実に推進してまいります。



令和七年度

感謝状贈呈

(敬称略)

防衛大臣感謝状

◎防衛協力功勞(就職援護・団体)
霧島木質発電株式会社

本部長感謝状

◎一般功勞

児玉 健二郎

(鹿児島県隊友会会長)

宮路 正人

(自衛隊鹿児島地方協力本部OB会会長)

◎募集功勞(個人)

中井 薫子

(垂水市役所市民課相談係)

巨 本澄

(知名町家族会会長)

吉田 末次

(鹿児島県隊友会知名町支部長)

米永 康平

(大崎町役場総務課消防防災係)

湯水 敏弘

(大興電設)

黒瀬 慎吾

(錦江町役場総務課)

野田 里美

(鹿屋市吾平学校給食センター)

◎予備自衛官等雇用功勞

医療法人 七徳会 ザ王病院

医療法人 くすのき会

新門リハビリテーションクリニック

◎就職援護功勞(団体)

学校法人 法隆寺学園

株式会社 南電工

株式会社 カクイックスウイング

◎就職援護功勞(個人)

橋口 知章

(川北薩自衛隊退職者就職就職援護協会前会長)

各所・センターの話題

鹿児島工業高校ラグビー一部
隊内生活体験(川内駐屯地)

鹿児島募集案内所



水中処分母船6号
一般公開(串木野新港)

薩摩川内出張所



加治木工業高校職場体験学習
(第1普通科直接支援中隊)

国分地域事務所



国分駐屯音楽部合同演奏会
生徒の日(指宿高校)

知覧分駐所



掃海艇はつしま一般公開
(志布志港外港区A岸壁)

大隅地域事務所



SH-60K体験搭乗
(鹿屋航空基地)

鹿屋地域事務所



パワーアドベンチャー2025
三自衛隊広報(那覇基地)

奄美大島駐在員事務所



南種子町ロケット祭り
道中踊り(南種子町)

種子島駐在員事務所



中堅教諭等資質向上研修
パワーアップ研修支援(天城町立北中学校)

徳之島駐在員事務所



任期制退職予定隊員インターシップ
(株式会社アクティオ始良工場)

鹿児島地域援護センター援護班



就職補導教育会社見学
(日本アルコール物流株式会社)

川内駐屯地援護センター



退職自衛官雇用企業研修
(鹿児島空港ビルディング(株))

国分駐屯地援護センター



臨時勤務隊員の活躍

「職場体験学習」
を支援して

薩摩川内出張所

薩摩川内出張所、川内駐屯地で実施されたいちき串木野市立串木野西中学校の1年生34名に対し職場体験学習の支援をした。

中学生の約半数は、女子生徒であったことから、薩摩川内出張所へ臨時勤務している第1高射特科群所属(島松)の前濱み陸士長(阿久根市出身)が部隊での経験を活かし、基本教練やロープワークの支援助教として活躍した。教官・助教が優しく丁寧に教えることにより教諭、生徒共に楽しそうに参加していた。

中学生からは「自衛隊の人はみんな怖いイメージでしたが今日は本当に楽しかったです」、教諭からは「自衛隊の駐屯地で体験学習を行って貴重な経験ができました」、「生徒達が楽しそうにしている姿を見ることができ、自衛隊に体験学習に来て良かった」などの感想を頂いた。



母校へ
部活動訪問

鹿児島募集案内所

臨時勤務の第8地対艦ミサイル連隊所属、上橋紅葉陸士長(湯布院)は後輩と部活動を通じて自衛官として交流を図り、自衛隊への親近感の醸成を図ることを目的として母校である吹上高校(日置市)において部活動訪問を実施した。

上橋士長は、吹上高校在籍中、生徒会及びサッカー部を経験しており、生徒会では生徒会長、サッカー部においては主将を務めていた。現在の高校3年生とは共に汗を流した仲間であり、一緒にボールを追いかけて、コミュニケーションをとっている姿に、後輩たちからとても慕われていたことがうかがえた。

部活動終了後には、部員に対して、自衛官としての心境、生活・勤務環境等話す機会をいただき、自衛隊の魅力発信に努めた。「自衛官になった先輩と再会し、汗を流せてよかった。上橋先輩みたいな格好いい人になりたい。」と笑顔で話す後輩の姿が印象的であった。



同世代の強みを活かして
自衛隊の魅力を発信

国分地域事務所

第9航空団基地業務群管理隊(那覇)から臨時勤務として、郭賢太空士長の支援を受け、学校説明会及び各種イベント等の募集業務を実施した。

郭士長は臨時勤務の間、学校説明会等に参加し、自衛隊に興味のある高校3年生に対し職務内容、入隊動機及び入隊前後の心境等を分かりやすく説明を行った。

また、鹿児島地本最大のイベントである「自衛隊みなと祭り」にも参加し、自衛隊の魅力、特に空自の概要及びやりがいを熱心に伝え、自衛隊への理解促進を図った。

各種説明等において同世代の強みを活かして募集対象者と積極的にコミュニケーションを図り親近感を醸成するとともに、質問等に対して真摯に受け答えする姿が印象的であった。

母校(市立国分中央高校)において帰郷広報を実施した際には、温かく迎えてくれた校長先生及び当時の担任教諭らは、再会した教え子の成長した姿に大変感心するとともに、驚いた表情をされていた。

臨時勤務を終えた郭士長からは、「募集業務の難しさや現状を肌で感じて、広報官の方々の業務を少しでも支援できたことは、大変貴重な経験であり、このような機会を頂けたことに感謝しています。また、私が説明を担当した募集対象者が一人でも多く、自衛隊への門をくぐってもらえたらと思います。臨時勤務間に得られたことを今後の自衛隊での勤務に活かしていきたいです。」と感謝と感想を述べていた。



令和7年度自衛隊みなと祭りを開催

陸海空自衛隊が鹿児島本港北埠頭で自衛隊をPR



まもる君、リックンと記念撮影の様子

儀仗隊から荣誉礼を受ける様子

一般公開は長蛇の列でした

装備品展示会場の様子

自衛隊鹿児島地方協力本部は、令和7年7月26日(土)、27日(日)鹿児島地本の一大イベントである「令和7年度自衛隊みなと祭り」を、鹿児島本港北埠頭にて陸海空それぞれの部隊から支援を得て開催した。

26日(土)には、海上自衛隊 第5護衛隊所属 護衛艦「こんごう」による体験航海が天候不良により中止となったものの特別公開を実施し、鹿児島地方協力本部、宮崎地方協力本部、えびの駐屯地及び川内駐屯地等の招待による、募集対象者や関係協力団体の745名が参加した。

27日(日)は、同艦艇の艦艇公開が行われ来場者への一般公開の他、鹿児島県、熊本県及び宮崎県の募集対象者に対する特別公開や「こんごう」自慢の牛すじカレーの体験喫食が実施された。

装備品展示では、陸上自衛隊からは、第8施設大隊(川内)オートバイ、西方特科連隊(えびの)の155mmりゅう弾砲FH70、航空自衛隊からは、第5航空団(新田原)の基地防空用地対空誘導弾、第8高射隊(高良台)の地対空誘導弾ペトリオット発射機の展示を実施し、装備品展示会場周辺では、陸上自衛隊公式キャラクター「まもる君」及び鹿児島地本公式キャラクター「リックン」が来場者と記念撮影を行い会場は大いに盛り上がった。

その他、南極の氷、航空機の操縦桿、パイロットスーツの展示及び陸海空自衛官の制服試着コーナーにそれぞれ多くの来場者が訪れた。地本部員一丸となってイベントを盛り上げた結果、悪天候のため縮小開催にもかかわらず会場へ足を運んでいただいた約4600名の来場者へ自衛隊・自衛官をPRすることができた。

来場者の中には、「「こんごう」が好きすぎて趣味から志願へ変わり、現在入隊試験の結果待ちです！入隊したら「こんごう」の乗員を目指します！」と嬉しそうに話す方や、鹿児島市内の高校生からは、「防衛大学校に興味があり特別公開に参加しました。今日は艦艇公開を体験できて参考になりました！ありがとうございました。」等多くの感想と感謝の言葉をいただいた。

人事往来

【転出者】

- 自衛官
- 1等陸尉 迫口 真也
- 第113教育大隊(国分地域事務所長)
- 陸曹長 猿渡 裕
- 第43普通科連隊(援護課)
- 陸曹長 久木元 隆夫
- 西部方面システム通信群(薩摩川内出張所)

【転入者】

- 1等陸尉 田中 秀和
- 国分地域事務所長(第7特科連隊)
- 陸曹長 本木下 智志
- 援護課(関東補給処)
- 陸曹長 東村 稔
- 国分駐屯地援護センター(第24普通科連隊)
- 1等陸曹 小池 裕美
- 知覧分駐所(自衛隊熊本地方協力本部)
- 2等陸曹 鮫島 秀作
- 大隅地域事務所(第43普通科連隊)
- 2等陸曹 児玉 一希
- 薩摩川内出張所(第8施設大隊)
- 3等海曹 古川 那奈実
- 薩摩川内出張所(第31整備補給隊)

【定年退職者】

- 准陸尉 寺山 一郎(大隅地域事務所)
- 陸曹長 深渡瀬 明広(薩摩川内出張所)



自衛隊鹿児島地方協力本部 099-253-8920

鹿児島地本 HP



鹿児島地本

検索

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802

事務所名	電話番号
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

陸海空自衛官募集

WHY?



答えがここでした

陸海空自衛官